

(別記)

2019年度和歌山県水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本県は、紀伊半島の南西に位置し、温暖で降水量が多い気象条件や、京阪神の消費地に隣接した立地条件を活かし、古くから、果樹、野菜、花き・花木の栽培が盛んである。水稲は、紀ノ川や日高川等主要河川両岸に広がる平野部から中山間地域に至るまで広く作付されている。平成30年度の耕地面積は32,400ha、うち水田面積は9,520ha、水稲作付面積は6,430ha（平成30年度耕地面積調査、農林水産省データ）である。

近年、農業者の高齢化が進むとともに、農家戸数の減少が見られる。生産面では、夏期高温による農作物の品質低下や収穫遅延、燃油高騰に伴う生産コストの増加が農業経営に影響を与えている。

2 作物ごとの取組方針等

地域特性を踏まえつつ、環境に調和した収益性の高い農業の実現に向け、生産力向上と高品質化、低コスト化の取組を推進するとともに、産地交付金を活用して生産振興を図る。

(1) 主食用米

主食用米は、生産数量参考値に沿った作付面積を確保し、需要に応じた生産に取り組むとともに、高品質安定生産を推進する。

(2) 非主食用米

飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、新市場開拓用米等の非主食用米は、実需を踏まえた生産の取組を支援する。

(3) そば、なたね

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

(4) 高収益作物（園芸作物等）

野菜、花き、果樹は、本県の農業において占めるウエイトが高く産出額も大きい。また、これらの作物のほか、特用作物など地域ごとに特徴のある品目が多数生産されている。これら高収益作物の作付を推進し、収益性の向上を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	6,430	6,369	6,330
飼料用米	3.0	3.0	5.0
米粉用米	0	0	0.3
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	1.8	2	2
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	0.9	1	1
大豆	14.6	14	14
飼料作物	4.5	3	3
そば	1.8	2	2
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	538.2	630	750
野菜	403.5	472	562
花き・花木	108.8	127	151
果樹	18.5	22	26
その他	7.4	9	11

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	
4	高収益作物	高収益作物の作付支援	交付面積	(2018年度) 538.35ha	(2019年度) 703.98ha (2020年度) 758.54ha
5	飼料用米、米粉用 米の多収品種	多収品種の導入支援	交付面積	(2018年度) 1.39ha	(2019年度) 2.29ha (2020年度) 3.19ha
6	そば、なたね	そば・なたねの 作付支援	交付面積	(2018年度) 1.82ha	(2019年度) 1.81ha (2020年度) 1.81ha
7	高収益作物	作物転換への支援	交付面積	(2018年度) 29.04ha	(2019年度) 54.56ha (2020年度) 54.56ha
8	高収益作物	高収益作物等 拡大加算	交付面積	—	(2019年度) 54.56ha (2020年度) 54.56ha